

募集班長の模型部屋(第27回)

皆さんこんにちは。いかがお過ごしですか？今年の夏も暑かったですね。例年ならば娘達と某ランドに遊びに行って、アキバに買い物・・・がパターンなのですが、今年は長女が受験生なので遊びは自粛です。ですから新しいキットの購入が出来ないので押入れの中の買いためたプラモを作っていました（笑）汗を流しながら作るプラモもまた格別です。部品が手に付着するし、作品の表面に手油が付着するし、ベタベタする・・・でも、そんなサマープラモも大好きです。さて今回は、旧軍戦車シリーズから

97式軽装甲車です。

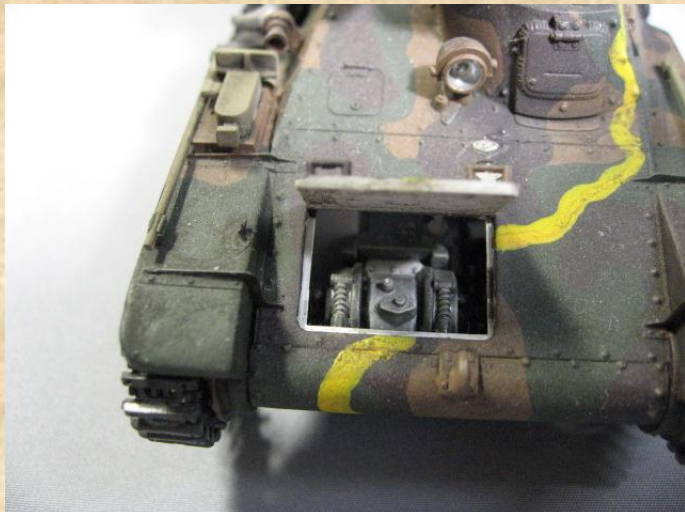


大戦初期から使用されていた装甲車で、小さいながら当時の戦車に搭載されていた火砲を搭載していた二人乗りの「豆戦車」でした。でも、当時の他国戦車と比べると・・・その非力さは言うまでもありません。このような戦車でも将兵からは心強い存在だったんでしょうね。

アニメ「ガールズアンドパンツァー」の「リボンの武者」に出てくる戦車としてもファンの間では有名です。キットはファインモールド社のもので内部構造までキット化されたなかなか作り応えのあるものです。一番作り応えのあるところは・・・やっぱり組み立て式の履帯ですかね（笑）可動式よりは精密感が出て良いとは思いますが、とにかく面倒です。



内部までキット化されるとともに、エッチングパーツも各ハッチ開状態での部品が多かったため、全ハッチを開状態にしました。ハッチの内側が野外で目立つ白なのか、偽装効果のあるカーキ色なのかは不明ですが、説明書どおり白としました。コンパクトな車両の印象を受けます。塗装はGS1クレオスの日本戦車色セットを使用しました。スミ入れの後、ウェザリングスティックで、軽めの埃をのせてます。



エンジンや操縦席、砲塔の構造が一目で分かります。でもこのコンパクトな車体に一発食らったら・・・とはいえ、ここまで細部にわたってキット化するのはメーカー側の気合いを感じます。



ある模型雑誌に掲載されてましたが、ロシアに保管されている日本の戦車は程度が良く、博物館の館長に聞いたところ、「ドイツ戦車は今後の戦車開発の参考になるためいろんな試験を行ったが、日本の戦車は参考にならないためほとんど当時のままで保管している。」とのこと。その為、この様に細部にわたり取材が出来るのだそう。良かったのか悪かったのか・・・



戦車兵はミニアート社製で、凛々しい顔立ちに仕上がっております。海外のメーカーからも日本軍をキット化する時代が来たのかとうれしくなりますね。かつては見向きも去れてませんでしたから。アクリルタミヤで塗装し、スミ入れ処置を施しただけです。

今回は戦車も小さく、制作中のドラマもなかったため3ページで終了です。ごめんなさい。

さて、次回は・・・製作中です。もう少しお待ちください。ではまた自己満足の世界にお付き合いください。